

労働力調査における就業異動のよりの確な把握について

「転職希望」と「追加就業希望」の分離把握

総務省統計局労働力人口統計室
令和8年3月25日

現行調査票

A5 転職などを希望していますか	転職などを希望している 実際には仕事を探している 仕事を探していない	転職などを希望していない
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる	できない

案1 転職・追加就業希望を分離

A5-1 転職を希望していますか	転職を希望している 実際に仕事を探している 仕事を探していない	転職を希望していない
A5-2 今の仕事のほかに別の仕事も希望していますか	今の仕事のほかに別の仕事もしたい 実際に仕事を探している 仕事を探していない	別の仕事を希望していない
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる	できない

案2 平成25年以前に戻す

A5 転職などを希望していますか	転職を希望している 実際に仕事を探している 仕事を探していない	今の仕事のほかに別の仕事もしたい 実際に仕事を探している 仕事を探していない	転職も別の仕事も希望していない
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる		できない

● A5「転職などを希望していますか」の変更案についての主なご意見

- ・案1のほうが回答する上で迷うことが少ない。
- ・案1は質問がシンプルであり、転職希望と追加就業希望を別の設問とすることにより、クロス集計が可能になるという利点もある。
- ・調査客体に説明を行う立場としては、案1の方が説明しやすい。
- ・強いて言えば、労働政策的に転職支援と追加就業支援のどちらかを希望しているか考えたとき、案2の方が得られる情報量が多いのではないかと。

● A6「今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか」の設問及び位置についての主なご意見

- ・時間の概念をより強調した形で修正する点について賛成。
- ・「A6」の設問を「A5」より前に移動したほうが、回答者が混乱せずに済むのではないかと。
- ・就業時間にフォーカスするかたちで見直すというのは良い方法。現在の「A6」では、転職が入っているとは読み取れなかった。変更案によっては、かなり文言が前と変わってしまうことから、接続性が心配。
- ・全体として、追加の就業時間を把握しようとの動きは歓迎。「A4」に雇用形態についての設題があるため、「A6」を就業時間の追加に特化した設題にして「A5」の前に持って行ってはどうか。

● A6「今の仕事の就業時間を増やしたり 新しく仕事を追加することができますか」の設問についてのご意見を踏まえた対応

現行

A6
今の仕事の就業時間を増やしたり 新しく仕事を追加することができますか

変更案

A6 今より就業時間を増やすことができますか
今より就業時間の長い仕事に転職できる場合や 今の仕事のほかに別の仕事を追加できる場合も含めます

「時間」に関する設問であることが分かりにくい

現行調査票の「増やしたり」は、増やす以外の何か（＝時間の概念以外）を含むことから、ストレートに「今より就業時間を増やすことができますか」を設問とする

転職についての言及がないなど、含まれるものが分かりにくい

転職や追加就業に係る説明が必要であることから、設問下に補足説明を追加
レイアウト、誤解のない説明になっているかを考慮

第24回(前回)雇用失業統計研究会のご意見を踏まえた対応

● A6「今の仕事の就業時間を増やしたり 新しく仕事を追加することができますか」の位置についてのご意見を踏まえた対応

変更案

基礎調査票の⑧欄で勤め先での呼称を「パート」「アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他」と回答した方のみ記入してください(それ以外の方はA5へ)

A4 どうして今の雇用形態についているのですか 当てはまるものすべてに記入 うち おもなもの一つに記入	自分の都合のよい時間から働きたいから	家計の補助・学費等を得たいから	家事・育児・介護等と両立しやすいから	通勤時間が短いから	専門的な技能等をいかせるから	正規の職員・従業員の仕事がないから	その他
A5-1 転職を希望していますか	転職を希望している 実際に仕事を探している		仕事を探していない	転職を希望していない			
A5-2 今の仕事のほかに別の仕事も希望していますか	今の仕事のほかに別の仕事もしたい 実際に仕事を探している		仕事を探していない	別の仕事を希望していない			
A6 今より就業時間を増やすことができますか 今より就業時間の長い仕事に転職できる場合や今の仕事のほかに別の仕事を追加できる場合も含めます	できる			できない			
A7 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか	したことがある 今はやめている		今もしている	したことがない			

参考

「A5」の前に「A6」を移動

基礎調査票の⑧欄で勤め先での呼称を「パート」「アルバイト」「労働者派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他」と回答した方のみ記入してください(それ以外の方はA5へ)

A4 どうして今の雇用形態についているのですか 当てはまるものすべてに記入 うち おもなもの一つに記入	自分の都合のよい時間から働きたいから	家計の補助・学費等を得たいから	家事・育児・介護等と両立しやすいから	通勤時間が短いから	専門的な技能等をいかせるから	正規の職員・従業員の仕事がないから	その他
A6 今より就業時間を増やすことができますか 今より就業時間の長い仕事に転職できる場合や今の仕事のほかに別の仕事を追加できる場合も含めます	できる			できない			
A5-1 転職を希望していますか	転職を希望している 実際に仕事を探している		仕事を探していない	転職を希望していない			
A5-2 今の仕事のほかに別の仕事も希望していますか	今の仕事のほかに別の仕事もしたい 実際に仕事を探している		仕事を探していない	別の仕事を希望していない			
A7 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか	したことがある 今はやめている		今もしている	したことがない			

「A4」は、非正規雇用者の本意型・不本意型等別の把握のための設問。非正規雇用についての理由を踏まえ、状況を変えたい(転職、追加就業)か否かを問う、「A4⇒A5」の流れのほうが、「A4⇒A6⇒A5」よりも自然 (参考)

「A6」を時間に特化する文面に変更したことにより、当初の位置でも「A5-2」との重複感は軽減されたことから、「A6」の位置は、従前のまま(変更案)としたい

「転職希望者」、「追加就業希望者」を個別に把握すべきではないか

現行調査票

A5 転職などを希望していますか	転職などを希望している 実際には仕事を探している 仕事を探していない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	転職などを希望していない <input type="radio"/>
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる できない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
A7 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか	したことがある 今はやめている 今もしている したことがない <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	

→ **D欄へ** → **E欄へ**

案1 転職・追加就業希望を分離

A5-1 転職を希望していますか	転職を希望している 実際には仕事を探している 仕事を探していない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	転職を希望していない <input type="radio"/>
A5-2 今の仕事のほかに別の仕事も希望していますか	今の仕事のほかに別の仕事も希望している 実際には仕事を探している 仕事を探していない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	別の仕事を希望していない <input type="radio"/>
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる できない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
A7 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか	したことがある 今はやめている 今もしている したことがない <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	

→ **D欄へ** → **E欄へ**

案2 平成25年以前に戻す

A5 転職などを希望していますか	転職を希望している 実際には仕事を探している 仕事を探していない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	今の仕事のほかに別の仕事もしたい 実際には仕事を探している 仕事を探していない <input type="radio"/> <input type="radio"/>	転職も別の仕事も希望していない <input type="radio"/>
A6 今の仕事の就業時間を増やしたり新しく仕事を追加することができますか	できる できない <input type="radio"/> <input type="radio"/>		
A7 今の仕事の前に何か仕事をしていましたか	したことがある 今はやめている 今もしている したことがない <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		

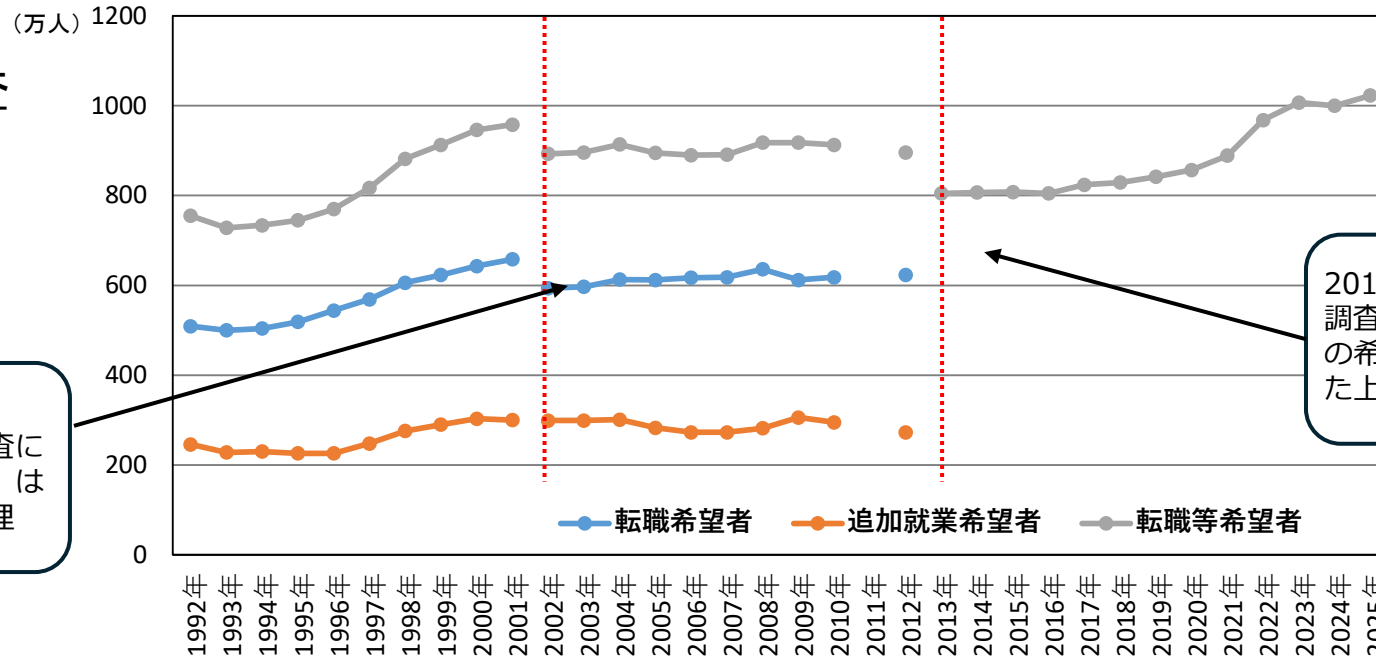
→ **D欄へ** → **E欄へ**

	案1	案2
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・転職と追加就業を同時に希望している者の把握が可能 ・転職希望者数のより正確な把握→実際の転職者数との比較 ・転職と追加就業とは異なる概念。分割してそれぞれ質問するほうが回答しやすいのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票変更前(2012年以前)との時系列比較が可能 ※ただし、現行調査票ですでに10年以上が経過。また、調査票が基礎から特定に変わっている点には注意が必要
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票のスペース圧迫 ・転職と追加就業を同時に希望している場合、どちらが主たる希望かが不明 	<ul style="list-style-type: none"> ・転職希望にも追加就業希望にも該当する者がとれない(例:最終的には転職したいが、当面はバイトの掛け持ちを希望)

⇒案1・案2共通の懸念事項として、設問A5を変更することより、設問A6の回答(未活用労働指標LU2、LU4)に影響を及ぼす可能性あり。また、設問A6が直前の設問と若干重複した内容となっているように見える(参考4)。

参考1 労働力調査及び就業構造基本調査における転職希望者、追加就業希望者の推移

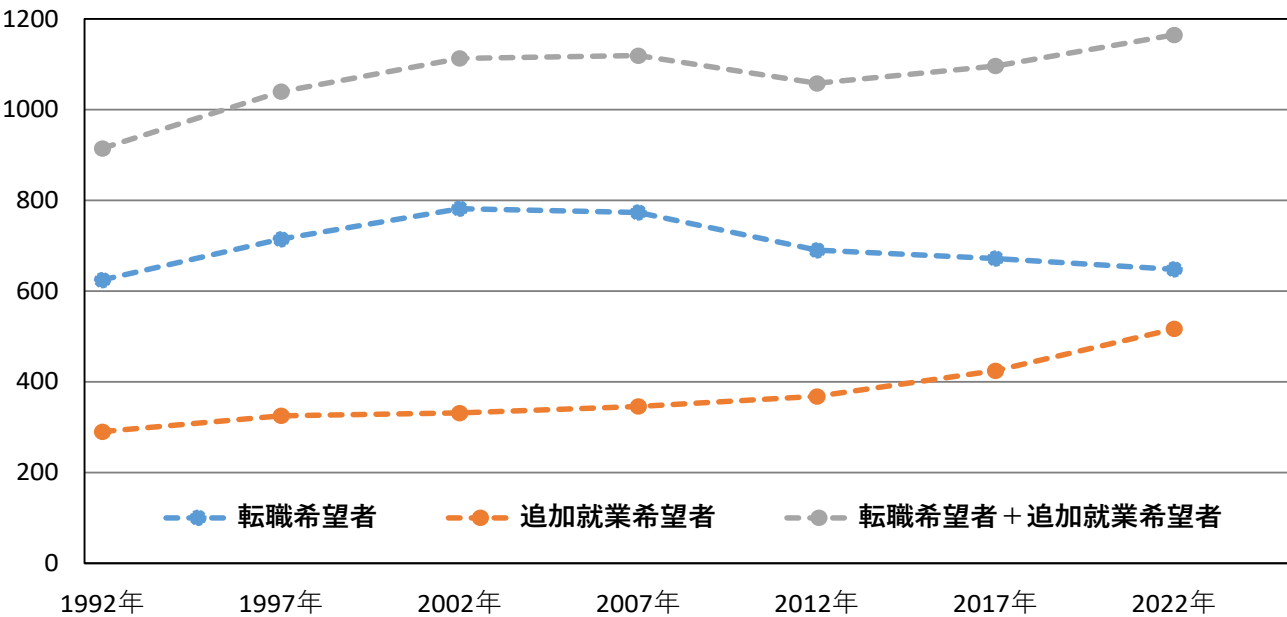
労働力調査



2002 (平成14) 年
労働力調査特別調査を労働力調査に統合。「転職などの希望の有無」は基礎調査票の調査事項として整理

2013 (平成25) 年
調査事項の大幅見直し。「転職などの希望の有無」は選択肢を簡素化した上で、特定調査票に移動

就業構造基本調査



参考4 設問A6(未活用労働指標に係る設問)における用語の意味について

<未活用労働指標の解説>より

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/mikatuyok.pdf>

未活用労働 (Labour underutilization) は、このような状態を包括的に表す概念であり、ILO決議の中で示されている主な測定尺度は、時間関連不完全就業 (Time-related underemployment)、失業 (Unemployment) 及び潜在労働力 (Potential labour force) の3つです。それぞれの状態にある者を測定するために定められた定義は以下のとおりです。

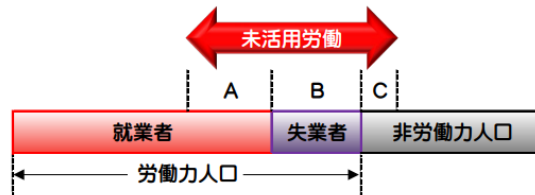
○ 時間関連不完全就業者 (Persons in time-related underemployment)

以下の4つの要件を満たす者

- ① 就業者である
- ② 一定の基準以下の就業時間である
- ③ 就業時間の追加を希望している
- ④ 就業時間の追加ができる

あくまでも「時間」による測定

労働力調査では、上記のILO決議に準拠しつつ、我が国の実情に合わせて以下の3つの就業状態区分を定義することとしました。



A 追加就労希望就業者	C 潜在労働力人口
① 就業者である	就業者でも失業者でもない者のうち、
② 週35時間未満の就業時間である	【拡張求職者】
③ 就業時間の追加を希望している	① 1か月以内に求職活動を行っている
④ 就業時間の追加ができる	② すぐではないが、2週間以内に就業できる
B 失業者	【就業可能非求職者】
① 就業していない	① 1か月以内に求職活動を行っていない
② 1か月以内に求職活動を行っている	② 就業を希望している
③ すぐに就業できる	③ すぐに就業できる

<特定調査票 記入のしかた>

A6 今の仕事の就業時間を増やしたり 新しく仕事を追加することができますか

以下のいずれか一つでも該当する場合は、「できる」とします。

- 現在の仕事の就業時間を延ばすこと
- 現在の仕事に加えて、別の仕事を新たに始めること
- 現在の仕事をやめて、別のより就業時間の長い仕事につくこと

仮に、今回の見直しと併せて設問A6をより定義に即した表現に見直す場合のイメージ

A6 今の仕事の就業時間を増やしたり 新しく仕事を追加することで就業時間を増やすことができますか	できる ○	できない ○
A6 今より就業時間を増やすことができますか (転職 副業 兼業を含む)	できる ○	できない ○